

歩こうかい(月例会)

10月実施分 10月14日(水)・天気:晴れ・参加者13名 <12,000歩>

360回 旧東海道伊勢国をあるく④・井田川～亀山宿

抜けるような青空と爽やかな風が心地よい、絶好のウォーキング日和となった。関西本線井田川駅に10時10分集合。キンモクセイの香り漂う旧東海道を西へ向かい、20分程歩くと谷口法悦供養塔に着く。この辺りは刑場で、熱心な法華信者の谷口法悦が刑死者供養に元禄年間(1690年頃)に建てたとのこと。さらに進むと建久3年(1192)頼朝から寺領と社殿の寄進を受けた石上寺(せきじょうじ)が見えてくる。しばらく歩き和田の一里塚を経てカメヤマローソクの工場を過ぎると亀山宿に入る。街道沿いには古い町屋が建ち並んでいたが、近年は現代建築に建て替えられ、歴史保存の為に塀や壁に旧屋号が掲げられていて昔を偲ばせてくれる。江戸口門跡を過ぎるとアーケードの商店街となっているが、シャッター通りとなっていて人通りは少ない。本陣跡、高札場跡を経て少し進むと亀山城多聞櫓と石垣が見えてくる。天守閣は寛永9年(1632)丹波の亀山城と勘違して取り壊されたとのこと。昼時となり城址公園で昼食を摂った後、石垣をバックに記念撮影。城址を後にし、29年かけて本懐を遂げた石井兄弟仇討の碑、家老加藤家屋敷跡、京口門跡を経て古刹遍照寺に向かう。境内に入ると寺の方が突然の参拝にもかかわらず親切に案内をしてくれた。本堂は江戸時代、小僧の火の不始末で焼失したが、明治6年(1873)亀山城二の丸御殿の大書院と玄関式台部を移築したとのこと。本堂内でお参りした後、ゴールの亀山駅近くにある小さなカフェでスイーツを楽しみながら歓談、14時頃解散する。

記 奥村 正忠

